

飲食店で労災が起きたときの対応フロー

仕事中にケガが起きたら、まずケガをした人への対応を優先します。

1

安全を確保・応急処置

作業を止め、ケガの状態を確認します。必要な応急処置を行い、緊急性がある場合は救急要請など適切に対応します。



2

必要に応じて医療機関を受診

受診するときは、医療機関に「仕事中のケガです」と伝えます。仕事中のケガについて、最初から健康保険を使って受診するものではありません。



3

事故の状況を記録

いつ・どこで・何をしていた・どのようにケガをしたのかを確認します。目撃者や現場の状況も確認します。→2ページ目へ記入



4

必要な手続きを確認

ケガの状況や休業の有無などを確認し、必要な労災保険の手続きを進めます。あわせて、労働基準監督署への報告が必要か確認します。



5

ケガをした本人をフォロー

ケガの状態や、仕事に戻るうえでの不安などを確認します。必要に応じて仕事の内容や復帰の仕方を考えます。



6

原因を確認して再発防止

なぜ事故が起きたのかを振り返ります。床・設備・作業方法・忙しさ・人員配置など、店として改善できなかったか確認します。

まず、ケガをした人を大切にする。

安全確保・応急処置 → 必要なら受診 → 状況を記録 → 手続きを確認 → 本人をフォロー → 再発防止

労働災害 発生状況確認シート

ケガをした方への対応を最優先にしたうえで、分かる範囲で記入してください。

1. ケガをした方

氏名 _____ 職種 _____
住所 _____

2. 事故が起きた日時

発生日 年 月 日 発生時刻 時 分 ころ

3. 事故を確認した方

氏名 _____ ※直接確認した方がいない場合は、状況を確認した上司等

4. どのような場所で起きましたか？

例：厨房のフライヤー前、洗い場、ホール、バックヤードなど

5. どのような作業をしていましたか？

例：揚げ物、グラス洗浄、食材の運搬など

6. 何が原因・きっかけになりましたか？

例：油、熱湯、包丁、割れたグラス、濡れた床、段差など

7. そのとき、周囲はどのような状態でしたか？

例：床が濡れていた、通路に荷物があつた、機械が動いていたなど

8. どのような事故が起きましたか？

できるだけ具体的に記入してください。

労働災害 発生状況確認シート

続き：受診・休業・事故後の確認

9. ケガをした部位・状態

ケガをした部位

状態 ☐ 切り傷 ☐ やけど ☐ 打撲 ☐ 捻挫 ☐ 骨折 ☐ 腰痛 ☐ その他（ ）

10. 受診した医療機関

病院・クリニック名

薬局名

受診日 年 月 日

11. 仕事を休みましたか？

☐ 休んでいない ☐ 休んだ ☐ 確認中

休業開始日 年 月 日 復帰日・復帰予定日 年 月 日

12. 現場の記録

☐ 現場写真あり ☐ 防犯カメラ等で確認可能 ☐ 目撃者あり

☐ その他

事故後の確認

☐ 労災保険の手続きを確認

☐ 労働者死傷病報告の要否を確認

☐ 本人の状態を確認

☐ 原因・再発防止策を確認

確認者 確認日 年 月 日

※本資料は、業務中の事故発生時の初期対応と状況整理を目的とした簡易資料です。事故の状況により必要な手続きは異なります。